

庭内に造った趣味の「露天風呂」と「足湯」を愉しむ日々

機械工学科43年卒 高橋 欣也

今年年頭から、新型コロナウイルスが世界的規模で猛威を振るっており、世間は暗い話ばかりである。このウイルスの怖いところは、一旦重症化すると死に至るまでの期間が極めて短いということである。とりわけ私たちのような高齢者や肺疾患、心疾患、糖尿病等で免疫力や抵抗力が衰えている者は重症化しやすく、罹ってしまうとひとたまりもない。中国・武漢から始まったこのウイルス感染拡大は世界中を恐怖に陥れ、その影響は経済にも波及している。東京オリンピックも1年延期が決まり、今や日本のみならず世界経済を根底から覆しかねないリスクが顕在化してきている。身近なところでは、学校の休校、企業の休業、外食産業の倒産、観光客の激減、そんな話がいたるところから聞こえてくる。私の住む東広島市は日本三大酒処の一つで、中小零細企業の多い街だが、観光客の激減で地元の酒蔵は不振を極めていいる。昼間の酒蔵通りは人っ子ひとりいない。外国人観光客も見

なければ、酔っ払いのひとりも見かけない。さみしい限りだ。こんな光景は読者のみなさんの地域でも同様の傾向だろう。これから日本はどうなるか心配の種はつきない。そのような折、広島県にも緊急事態宣言が発令された。それによると、感染拡大防止対策の主なものとして、人との接触を8割減少することとある。つまり週末はもちろん平日も極力外出を自粛せよ、ということである。これでは自宅に留まるほかない。正に“Stay at Home”で、ことによっては夫婦喧嘩が絶えないということにもなるだろう。

こんな世相ではあるが、今回は読者の皆さんに私の明るい話題を披露しよう。この機会に皆さんも何かものづくりをしてみたいと思われればうれしい限りだ。

私には若い頃よりひとつの夢があった。それは趣味の「露天風呂」と「足湯」を自宅前の庭園に造ることだ。それも子供だましのちゃちなものではなく、本格的なものを自分

我が家が季節の良い時期は・・・



の手で造る。幸い我が家は東広島市を眼窩に眺望できる絶好の位置にあるので、これを借景として利用しない手はない。いつ完成するかわからないが、自分流で造ることにした。10年くらい前には自宅前の田んぼを改造して自分だけのプライベートゴルフ場を造ったこともある（H23「常盤」67号寄稿）。ヨセワンのゴルフ場だ。友人達専用の限定会員制としたがとても好評だった。今度はヨセワンゴルフでプレーをして、疲れたところでこの露天風呂と足湯で愉しもうという目論見だ。

【露天風呂から東広島市街地を眺望する】

我が家は小高い山麓にある。「露天風呂」と「足湯」は家から見下せる庭内の一角に造った。ロケーション的にはすぐ目の前に酒蔵造りの煙突が何本も林立し、冬場の酒造りの時期にはその煙突からこうじ菌を発酵させる白い煙が立ち昇る。それはたいそう壮観だ。



我が家から露天風呂と足湯を見下ろす



露天風呂から東広島市街地を眺望



足湯から東広島市街地を眺望

【露天風呂で薪ボイラーも併設】

肝心の熱源は、天気の良い日は自然循環タイプの「太陽熱温水器」から温水を供給し、そうでない日は薪ボイラーで沸かすことにした。これらの機器はネットオークションで自分が気に入った商品だけを入札して競り落とすことにした。これなら買い出しに行かずに調達ができ、コロナ騒動に巻き込まれず極めて好都合だ。



露天風呂

【自分流の生き方について】

仕事も暮らしも欲張って刺激ある健康な生活を送りたい。「生」あるうちは誰しも「命」は惜しい。健康で過ごせるよう日頃の養生、そして早期発見、早期治療は鉄則。人は年をとるほど個人差は大きく生き方も様々だ。働けるうちは生涯現役で頑張りたい。